

夕刊 十二月二十日 發行日九十月二十

山口彌 琉球・台湾旅行談

十三日會講演筆記

五 山口彌 琉球・台湾旅行談
これら内地でお商売とかの家が一間ですが窓があつて...

初冬小吟

島田忠夫

初冬小吟
○さむい朝に夕日も沈むころ白雲橋を渡る

新年文藝募集

新年文藝募集
一、短歌(新年に因る歌) (山)

好問石難忘年句會

好問石難忘年句會
(二點句)
年貢米納めて何かと

山の怪秘

山の怪秘
丸山真作

潮聲

潮聲
酒井耕野

青い餅五

青い餅五
野村吉司

新年文藝募集

新年文藝募集
一、俳句(春に因るもの)

山の怪秘

山の怪秘
丸山真作

潮聲

潮聲
酒井耕野

青い餅五

青い餅五
野村吉司

新年文藝募集

新年文藝募集
一、短歌(新年に因る歌)

潮聲 酒井耕野
出かすか月の名残を鳴きわびて 芳月
洋々と流れるさやけし後の月
際立ちて木に澄む影や後の月
磯の香のたゞよふ爐邊の後の月 鷹子
山に住みて山になれけり後の月
このあたりみんな早寝や後の月
雲しめる風の冷たし十三夜 眞砂常
石うつしき嶺の月の名残かな
後の月花はほけけて芒

山の怪秘 丸山真作
(68) 丸山真作
鳥人闘争 (四)
「ごまかす様に下して下され、この場合は私に任せ下されぬか。吉田屋が、この談合を納得すれば宜い、が、こんども亦、判らん事、通すやうであつたら、只今の御隠居の説を踏附けるやうではあるが、一揆を起すのも詮方あるまいと思はれます。しかし、この一揆と必ずしも竹槍、鉄の類で亂暴を働かすといふのではない。氣勢を揚げて吉田屋を脅すのが目的ぢや、制つて入つた中年の男の



祝七五三 錦網傘代理店
祝七五三 錦網傘代理店
田口はさき物店
電話三七七番

貴方の御家庭に
マツダ會聯盟
上原家政婦會
自轉車ノ月賦販賣
エビスヤ自轉車店

